



「集まって住む」を楽しむ、無国籍風ゲストハウス

築約40年の木造2階建ての社員寮をリノベーションしたゲストハウスである。アンティークなドアノブを回して中に入るとまず驚かされるのが、ラウンジのインテリアだ。全体に和風木造の構造を残しつつも、アジア系のティストもあり、欧風を思わせる雰囲気もある独特な空間。オーナーによると「家具はもらってきたもの、材料は廃材や旅行先で買ったものがほとんどですよ」というが、美容室で使われていたという椅子など無名のデザインの調度品も、この部屋に絶妙にマッチしている。

各居室は、お姫様風の白を基調とした部屋、シンプルな和風の部屋、西洋アンティーク家具の置かれた落ち着いた部屋など、バリエーションに富んでいる。「シェアすること、コミュニケーションを楽しめる人に来てほしい」とオーナーが言うように、楽しんで暮らせることがポイント。いわば“無国籍風”ともいえるインテリアスタイルながら、センスよくまとめられた心地よいスペース。これからゲストハウスのあり方に一石を投じる、まったく新しい考え方だ。

中泊住人が集まってパーティーを催す場所として最適。スタイルキンの椅子が用意されているので古美術でも椅子代だ。



左／社員寮だったという木造2階建ての味わいのある建物 右／天井を取り戻した構造の見える和洋折衷な室内が新鮮だ



お問い合わせ先
ゲストハウス・ガイドブックひつじ不動産 www.jiru.jp

専有面積 7.5畳～13.0畳
資料料 57,000円～82,000円
建築年月日 昭和50年8月
リノベーション年月日 平成21年1月
設備 着脱式ストーブ、壁掛けバスhtub、業務用冷蔵庫、食器、調理器具（以上共用部）、机、椅子、ベッド、全室インターネット接続機能（以上占有部）
立地 JR常磐線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス「南千住」駅徒歩3分
設計 有限会社大間商品研究所

07

東京都・荒川区南千住
バウハウス南千住



大きなテーブルのあるキッチン通り。テーブル表面のタイルはオーナー自ら張ったという。冷蔵庫など厨房機器は業務用を使用

中央に面したラウンジは世界各地の新しい調度品で飾られている。また薪ストーブが設置された、あたたかい雰囲気のスペース